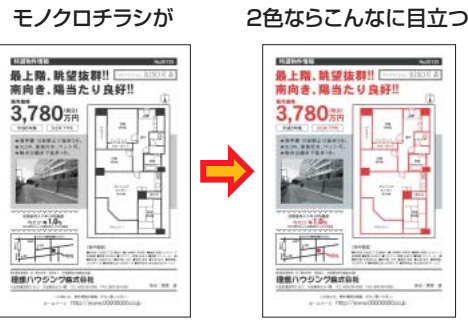


リングラフMZシリーズで“目立つ”チラシを作ろう



MZ770/MZ730は、同時に2色をプリントする『1パス・2カラー』を実現している。ポイントをひと言でいうと、「安い・速い・操作も簡単」となる。

リングラフはもともと、「同一原稿なら、刷れば刷るほど1枚あたりの印刷単価が安くなる」のが特徴。MZシリーズも、2色で30枚印刷した場合は単価2・22円だが、10

販促チラシのインパクトを低コストで引き出すツール

高速2色デジタル印刷機
リングラフ MZ770/MZ730
(A3判対応) (B4判対応)



チラシは昔から社内で作っている。しかし、このところは効果が気になるようになった。他社のチラシを見ると、フルカラーでインパクトのあるものも目に付く。チラシは回数だけでなく訴求力を競う時代になってきたのだ。ウチもカラフルでインパクトのあるものを作りたいが、大量のチラシを4色で作るコストを考えると、なかなか思い切れないでいる。できるだけ安価で手間をかけずに、チラシを目立たせる良い方法はないものだろうか？

モノクロチラシが 2色ならこんなに目立つ

●モノクロで作った原稿でもカンタンに色分け(エリア指定分版を使った場合)



レッド	フライトレッド	リンマリオンレッド	パーガンディレッド	ブラウン
イエロー	グリーン	ティールグリーン	ブルー	ミディアムブルー
リネフェチラルブルー	パープル	グレー	ライトグレー	ブラック

カスタムカラー50色
印刷色も豊富。通常色で15種類、受注生産のカスタムカラーは50種類。さらに特殊色の個別オーダーにも対応。

■例えば不動産業なら



■例えば多数のチラシやプリントを使う会社なら



「直筆」のPRを加えたい時に便利だ。③④は、色分けした部分を赤ペンで囲むやり方。元原稿に直接囲みを入れるのが③。一方の④は、原稿とは別の紙に色分け部分を指定する。「元原稿を汚したくない」というとき

お問い合わせ先
理想科学工業株式会社
東京都港区芝5-34-7 田町センタービル
電話(フリーダイヤル):0120-534-881
(お客様相談室)
URL:http://www.riso.co.jp/77cps/

2色印刷に便利な色分け指定も充実
原稿上の色分け指定を簡単に行える「分版機能」も充実している。その方法は、①赤色分版、②書き込み分版、③エリア指定分版、④トレー分版——と4つもある。
①は、パソコンでも手書きでも、黒と赤を使って元原稿を作れば、印刷時に自動で色分けしてくれる。②は、鉛筆や赤ペンで「手書き」した内容がそのまま色分け指定になる。パソコンなどで作った原稿に「直筆」のPRを加えたい時に便利だ。③④は、色分けした部分を赤ペンで囲むやり方。元原稿に直接囲みを入れるのが③。一方の④は、原稿とは別の紙に色分け部分を指定する。「元原稿を汚したくない」というとき

印刷物という「モノクロか4色フルカラーか」の二者択一のように思ってしまうのが一般的だ。印刷の色数が増えれば、見る人に与えるインパクトは何倍、何十倍にもなる。しかし、その分、印刷単価も高くなる。チラシなどを大量に印刷するとコスト負担も相当大きくなってしまふ。そうしたことから、「4色にしたいけれど、モノクロで我慢しよう」と考える人は、結構多いだろう。
ならば、「2色印刷」を使ってみてはいかがだろうか。モノクロチラシにワンポイントの色を加えるだけでも、見る人に与える印象はずいぶん違う。さらに、印刷用紙としてカラー紙を使えば、訴求効果もさらに1色分増やすことができる。

高頻度のデータはメモリー保存
原稿と組み合わせる簡単に印刷
リングラフMZシリーズは、他にも便利な機能を多数搭載している。例えば、メモリーカードを使って会社のロゴやトレードマーク、リーダーヘッドなど、よく使う画像や文字データを保存できる「ドキュメントホール」機能は、必要ときに簡単な操作でデータを呼び出して、原稿と組み合わせる印刷ができる。読み取った印刷用データを液晶タッチパネルに表示して、編集や印刷の細かい指定が行える「ソフトウェアイザ」機能もオプションで用意した。店舗や企業はもとより、官公庁・地方自治体、学校や塾などでも、まとまった数の印刷を行う場面はいろいろある。今までに作った印刷物の「目立ち度」とそのコストを、一度調べてみてはどうだろうか。

手間をかけずに安くて速い2色印刷を実現
理屈はわかるけれど、どうすればいいのだろう。今まで2色印刷というところ、印刷することによって、印刷する色ごとに原稿を用意し、2回印刷しなければならなかった。色替えや乾燥、紙ぞろえ作業等手間と時間がかかっていた。しかし、期待に応える製品が理想科学工業から新発売された。「リングラフMZ (エム・ジー) シリーズ

印刷物という「モノクロか4色フルカラーか」の二者択一のように思ってしまうのが一般的だ。印刷の色数が増えれば、見る人に与えるインパクトは何倍、何十倍にもなる。しかし、その分、印刷単価も高くなる。チラシなどを大量に印刷するとコスト負担も相当大きくなってしまふ。そうしたことから、「4色にしたいけれど、モノクロで我慢しよう」と考える人は、結構多いだろう。
ならば、「2色印刷」を使ってみてはいかがだろうか。モノクロチラシにワンポイントの色を加えるだけでも、見る人に与える印象はずいぶん違う。さらに、印刷用紙としてカラー紙を使えば、訴求効果もさらに1色分増やすことができる。

リングラフMZ770: 1,600,000円(架台別)
リングラフMZ730: 1,380,000円(架台別)

リングラフMZ770のプリント単価(2色プリント時)

30枚	単価 2.22円
50枚	単価 1.37円
100枚	単価 0.73円
500枚	単価 0.23円

※ A4、画像面積10%、同一原稿印刷時、RISOマスターズタイプ77使用の場合。用紙別。